

歩いたぶんだけ、幸がある。

熊野古道伊勢路 全17コース

美しい石畳、歴史を刻む石碑、
峠から見晴らす絶景…。
「遊歩百選」にも選ばれた
熊野古道伊勢路には、
見どころがいっぱい。
いにしえの面影を残す
その道のりを歩き尽くす、
熊野古道伊勢路を紹介します。

12 松本峠・花の窟
まつもととうげ はなのいわや
美しい石畳が残り竹林に囲まれた峠では、等身大ほどのお地蔵様が出迎えてくれる。

9 二木島峠・逢神坂峠
にぎしまとうげ・おうかみざかとうげ
「逢神」とは伊勢と熊野の神様が会うという意味。かつては狼が出没したからとも。ほぼ全区間に亘る石畳が通じる。

13 横垣峠
よこがきとうげ
この地特有の神木流紋岩が敷き詰められた石畳が整然と続く。麓の里・阪本にはゆるやかな棚田が広がる。

10 波田須の道・大吹峠
はだすのみち・おおぶきとうげ
波田須は徐福伝説が残る伝説と神話の里。史跡を巡り、悠久の時を感じよう。大吹峠には熊野古道にはめずらしい竹林が広がる。

14 風伝峠
ふうでんとうげ
海辺と山村を結ぶ要路だった峠。苔むした石畳が続き、麓では秋から春にかけて巨大な朝霧「風伝おろし」が見られる。

15 通り峠(丸山千枚田)
とおりとうげ
古くから生活道として使われ海の幸と山の幸が行き交った道。展望台からは、山腹に築かれた見事な棚田と山並みが一望できる。

16 浜街道
はまかいどう
熊野市街から七里御浜に沿って熊野速玉大社が鎮座する新宮を目指す道。海の蒼と白い波のコントラストが素晴らしい。

17 熊野川
くまのがわ
三反帆で熊野川を体験し、比丘尼転びや釣鐘石など、奇怪な自然の造形物を眺めながら熊野川を実感できる。熊野川沿いに、川端(川丈)街道(※平成28年3月現在、通行不可)がある。

1 全長約170Km

2 ツヅラト峠
まごせとうげ
重厚な自然石が折り重なるように敷き詰められた石畳は、日本でもトップクラスの雨量を誇る尾鷲の雨から古道を守ってきた。

3 二木峠・平方峠・熊ヶ谷道
にさかとうげ
江戸時代中期よりツヅラト峠に替わり熊野街道の正式ルートに。眺めの良い沖見平には鈴木牧之の句板が建つ。

4 始神峠
つけじとうげ
西国一の難所といわれ、かつては山賊や狼も出没し巡礼者から恐れられた。石畳道のかたわらには多くの石仏がたたずむ。

5 馬越峠
まごせとうげ
西国一の難所といわれ、かつては山賊や狼も出没し巡礼者から恐れられた。石畳道のかたわらには多くの石仏がたたずむ。

6 八鬼山越え
やきやまごえ
西国一の難所といわれ、かつては山賊や狼も出没し巡礼者から恐れられた。石畳道のかたわらには多くの石仏がたたずむ。

7 三木峠・羽後峠
みきとうげ・はごとうげ
近年、地元の方々によって発掘された。木々の間から海が見える眺めのよい道。峠から延々と続く猪垣は、当地方最長といわれる。

8 曽根次郎坂・太郎坂
そねじろうざか・たろうざか
中世の頃は志摩の国と紀伊の国境、現在は尾鷲市と熊野市の境。曾根の史跡を巡るほか、美しい石畳や猪垣に出会える。

9 二木島峠・逢神坂峠
にぎしまとうげ・おうかみざかとうげ
「逢神」とは伊勢と熊野の神様が会うという意味。かつては狼が出没したからとも。ほぼ全区間に亘る石畳が通じる。

10 波田須の道・大吹峠
はだすのみち・おおぶきとうげ
波田須は徐福伝説が残る伝説と神話の里。史跡を巡り、悠久の時を感じよう。大吹峠には熊野古道にはめずらしい竹林が広がる。

11 観音道
かんのんみち
観音信仰が盛んな時代は大吹峠を通らずに、道の傍らに西国三十三所の観音石像が立ち並ぶ観音道がよく使われた。

12 松本峠・花の窟
まつもととうげ はなのいわや
美しい石畳が残り竹林に囲まれた峠では、等身大ほどのお地蔵様が出迎えてくれる。

13 横垣峠
よこがきとうげ
この地特有の神木流紋岩が敷き詰められた石畳が整然と続く。麓の里・阪本にはゆるやかな棚田が広がる。

14 風伝峠
ふうでんとうげ
海辺と山村を結ぶ要路だった峠。苔むした石畳が続き、麓では秋から春にかけて巨大な朝霧「風伝おろし」が見られる。

15 通り峠(丸山千枚田)
とおりとうげ
古くから生活道として使われ海の幸と山の幸が行き交った道。展望台からは、山腹に築かれた見事な棚田と山並みが一望できる。

16 浜街道
はまかいどう
熊野市街から七里御浜に沿って熊野速玉大社が鎮座する新宮を目指す道。海の蒼と白い波のコントラストが素晴らしい。

17 熊野川
くまのがわ
三反帆で熊野川を体験し、比丘尼転びや釣鐘石など、奇怪な自然の造形物を眺めながら熊野川を実感できる。熊野川沿いに、川端(川丈)街道(※平成28年3月現在、通行不可)がある。

